「建築工事内訳書標準書式・同解説(令和5年版)」の内容の一部修正について

標題図書について別紙のとおり内容を一部修正致しました。

ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

また後段に、新たな 41 頁、42 頁、204 頁、205 頁、207 頁、208 頁を掲載しましたので、ご 利用いただけます。

(一財) 建築コスト管理システム研究所のホームページ画面はこちら 〈URL〉 https://www.ribc.or.jp/info/seigo/kenchikuUchiwakeHyoujyunR5.pdf



の修正
年版
5
(令和5年版)
, 同解説 (
•
建築工事内訳書標準書式
1mp 17
]建築工事

<u>п</u>
(細目別内訳)
12. *
(1) 躯体
1) 軸組
(製材)
十
世
(特殊柱)
(方杖)
筋がい
(集成材)
所要数量 項目は製材に同じ
2) 永維
(製材)
所要数量 大引
所要数量 (床束)

		備考	所要数量	所要数量				所要数量	所要数量	所要数量	所要数量	所要数量	所要数量			所要数量				
		金額																		
		単価																		
		単位	(本)	H)				'n(¥	H H	'n ("H \	H H	'n(¥			# \				
		数量																		
修正前		摘要	梅種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの台計:●m	梅種、寸共(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 給材長さの合計:●m			(構造用製材/ <u>機械等級区分</u>)の場合	機種、十法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥処理〕(保存処理〕(材面の美観) 部材長さの台計:●m、部材の本数の合計:●本	機種、十注(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本	衛種、寸法(断面、長さ)、等級、合水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本	衛種、十法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの台計:●m、部材の本数の台計:●本	機種、十法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理〕 部材長さの合計:●m	衛艦、寸井(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの台計:●m		[構造用集成材] の場合	機種、寸法 (断面、長さ)、等級 (強度等級) (対面の品質) 部対長さの合計: ●m、部材の本数の合計: ●本			<u>(無等級製材</u> 〕の場合	上字る。
	(細目別内訳)	名称	(根がらみ貫)	根太等	小計	3) 小屋組	(製材)	メ	(小屋東)	(斜树)	棟木・母屋	(桁行筋かい等)	垂木	小計	(集成材)	項目は製材に同じ	相小	4)壁	(製材)	() は必要に応じて計上する。
		金 額 備 孝	所要数量	所要数量				所要数量	所要数量	所要数量	所要数量	所要数量	所要数量			所要数量				
		東便																		
		単位	#H \	#E				'n(¥	"B¥	'n ("H¥	∄ ¥	#H#			#H#				
		数量																		
修正後		摘要	櫛種、十法(修面、長さ)、等級、合水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの台計:●m	機種、十法(修価、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 結対長さの合計:●m			(構造用製材/ <u>目視等級区分</u>)の場合	梅藩、 <mark>養途材の種類(甲籍・乙種の別)、</mark> 寸法(斯面、長さ)、等板 <u>含水率(乾燥処理)、(保存処理)、(</u> 材面の美観) 総材長さの合計:●m、総材の本数の合計:●本	梅種、 <u>推塗材の雑類(甲種・乙種の別)</u> ・寸法(断面、 長さ)、等級、含水率(解除処理)(保存処理) 総材長さの合計:●m、総材の本数の合計:●本	梅養、 <u>雄法材の種類(甲籍・2猪の別)</u> 十法(断面、 妻さ)、等級、合水率(解験処理)(保存処理) 総材長さの合計:●本、総材の本教の合計:●本	梅種、 <u>機造材の種類(甲種・乙種の削)、</u> 寸法(断面、 長さ)、 <mark>等板、含水率(枸焼板理)、(保存処理)</mark> 総材長さの合計:●m、総材の本数の合計:●本	機械、機法材の種類(甲種・乙種の別)、十法(断面、 最お)、等級、合水母(物象処理)、(保存処理) 総材表さの合計:●加	機構、 <u>機法材の種類(甲種・乙種の別)、</u> 寸法(断面、 長さ)、等板、含水体(配象処理)、(保存処理) 総材表さの合計:● m		[構造用集成材] の場合	梅種、寸法(断面、長さ)、等級(強度等級) (材面の品質) 衛材長をの合計:●m、部材の本塾の合計:●本			[下地用製材] の場合	1.148.
	(海内服目)	名称	(根がらみ貴)	根太等	小計	3) 小屋組	(製材)	樂·桁	(小屋束)	(斜材)	棟木・母屋	(桁行筋かい等)	- 東 - 米	小計	(集成材)	項目は製材に同じ	小計	4)壁	(製材)	()は必要に応じて計上する。
該当箇所	(細目別内訳)											_				_				

修正前	7. 無等級材は、樹種、寸法、 <mark>等級、</mark> 含水率〔乾燥処理〕、(材面の美観)などを明記する。 なお、それぞれの規格は次の区分の例がある。 等級:特1等、1等、2等 含水率〔乾燥処理〕:KD(人工乾燥木材) (材面の美観):無節、上小節、小節など	1. 集成材は、「集成材の日本農林規格」に定める構造用集成材 〔同一等級構成、異等級構成〕、化粧ばり構造用集成柱、造作用 集成材、化粧ばり造作用集成材がある。	2. 構造用集成材 [同一等級構成、異等級構成] は、樹種、寸法、強度等級、(材面の品質)を明記する。(()の項目は必要に応じて明記する。(以下この項において同じ。))なお、「集成材の日本農林規格」第5条(構造用集成材の規格)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。	3. 化粧ばり構造用集成柱は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の厚さ〕、見付け面の等級を明記する。なお、「集成材の日本農林規格」第6条(化粧ばり構造用集成柱の規格)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 見付け面の等級:1等、2等	 4. 造作用集成材は、樹種、見付け材面数、寸法、見付け材面の 品質などを明記する。 なお、「集成材の日本農林規格」第3条(造作用集成材の規格)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 2. では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 1.等、2等 	5. 化粧ばり造作用集成材は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の厚き〕、見付け材面数、 <u>見付け面の等級</u> を明記する。 なお、「集成材の日本農林規格」第4条(化粧ばり造作用集成材の規格)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 見付け面の等級:1等、2等
修正後	7. 無等級材は、樹種、寸法、含水率〔乾燥処理〕、(材面の美 観)などを明記する。 なお、それぞれの規格は次の区分の例がある。 含水率〔乾燥処理〕: KD(人工乾燥木材) (材面の美観):無節、上小節、小節など	1. 集成材は、「日本農林規格 JAS 1152」に定める構造用集成材 〔同一等級構成、異等級構成〕、化粧ばり構造用集成柱、造作用 集成材、化粧ばり造作用集成材がある。	2. 構造用集成材〔同一等級構成、異等級構成〕は、樹種、寸法、強度等級、(材面の品質)を明記する。(()の項目は必要に応じて明記する。(以下この項において同じ。))なお、「日本農林規格 JAS 1152」4.3 構造用集成材では、それぞれの規格を次のとおり区分している。	3. 化粧ばり構造用集成柱は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の厚き〕、 <mark>見付け材面数</mark> を明記する。	 4. 造作用集成材は、樹種、見付け材面数、寸法、見付け材面の 品質などを明記する。 たお、「日本農林規格 JAS 1152」4.1 造作用集成材では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 見付け材面の品質: 1等、2等 	 化粧ばり造作用集成材は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の厚き〕、見付け材面数、<u>見付け材面の品質</u>を明記する。 なお、「日本農林規格 JAS 1152」4.2 化粧ばり造作用集成材では、それぞれの規格を次のとおり区分している。 見付け材面の品質:1等、2等
該当箇所	16行目から 21行目	23 行目から 25 行目	26 行目から 30 行目	3行目から7行目	8 行目から 12 行目	13 行目から 17 行目
軍	204	204	204	205	205	205

修正前	構造用1. 構造用面材は、「合板の日本農林規格」に定める構造用合板、「日本農林規格」AS 0360」に定める構造に定める用パネル、「日本産業規格(旧:日本工業規格)」に定める構造 目れて、パーティクルボード、パーティクルボード、横造用MDF、パルプセスント板、構造用せっこうボード、せっこうボード、強化せっこうボード、せっこうボード、強化せっこう ボード、せっこうスポード、シージングボード、カスツート などがある。	反面の品 2. 構造用合板は、等級、接着の程度、表面の樹種名、板面の品で要に応じて明記する。(以下この項において同じ。)) は、それぞ、「合板の日本農林規格」第6条(構造用合板の規格)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。等級:1級、2級接着の程度:特類、1類を着の程度:特類、1類板面の品質:A-B,A-C,A-D,B-B,B-C,B-D,C-C,C-D,D-D D-D (強度等級): 1級、2級	合板、構 1. 合板等は、「 合板の日本農林規格 」に定める普通合板、構造用 除加工化 合板、化粧ばり構造用合板、天然木化粧合板、特殊加工化粧合 ネル、「日 板、「日本農林規格 JAS 0360」に定める構造用パネル、「日本産 選規格(旧:日本工業規格)」に定めるパーティクルボード、M DFなどがある。	 	
修工後	 構造用面材は、「日本農林規格」AS 0233」に定める構造用合板、化粧張り構造用合板、「日本農林規格」AS 0360」に定める構造用パネル、「日本産業規格(旧:日本工業規格)」に定める構造用パーティクルボード、パーティクルボード、構造用MDF、ハードファイバーボード、視質木片セメント板、パルプセメント板、構造用せっこうボード、せっこうボード、強化せっこうボード、せっこうボード、強化セっこうボード、せっこうボード、カスツートなどがある。 	2. 構造用合板は、等級、接着の程度、表面の樹種名、板面の品質、厚さ、(曲げ性能)を明記する。(() の項目は必要に応じて明記する。(() の項目は必要に応じな明記する。(区) の項目は必要に応じなお、「日本農林規格 JAS 0233」5.3 構造用合板では、それぞれの規格を次のとおり区分している。等級: 1級、2級接着の程度: 特類、1類板面の品質: A-B,A-C,A-D,B-B,B-C,B-D, C-C,C-D,D-D(曲げ性能): E50-F160~E80-F270	1. 合板等は、「日本農林規格 JAS 0233」に定める普通合板、構造用合板、化粧ばり構造用合板、天然木化粧合板、特殊加工化粧合板、「日本農林規格 JAS 0360」に定める構造用パネル、「日本産業規格(旧:日本工業規格)」に定めるパーティクルボード、MDFなどがある。		梁・桁
該当箇所	18 行目から 23 行目	24 行目から32 行目	34 行目から 次頁 1 行目	3 行目 (項目)	9行目
1	205	205	205	207	208

* 次頁以降に、新たな 41 頁、42 頁、204 頁、205 頁、207 頁、208 頁を掲載しましたので、ご利用いただけます。

2 工種別内訳書標準書式記載例

(細目別内訳)

(WHI TI YUT 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
名称	摘要	数量	単位	単価	金	額	備	考
12. 木								
(1) 躯体								
1) 軸組								
(製材)	〔構造用製材/機械等級区分〕の場合							
土台	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計: ●m、部材の本数の合計: ●本		m³ (本)				所要数	量
柱	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理)、(材面の美観) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	:量
(特殊柱)	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理)、(材面の美観) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量
梁・桁	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理)、(材面の美観) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量
(方杖)	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理)、(材面の美観) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量
筋かい	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量
小計								
(集成材)	〔構造用集成材〕の場合							
項目は製材に同じ	樹種、寸法(断面、長さ)、等級(強度等級) (材面の品質) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量
小計								
2) 床組								
(製材)	〔構造用製材/機械等級区分〕の場合							
大引	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計: ●m、部材の本数の合計: ●本		m³ (本)				所要数	量
(床束)	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)				所要数	量

^() は必要に応じて計上する。

[Ⅱ] 工種別内訳書標準書式

(細目別内訳)

(和日別内訳)	1	, ,				T
名 称	摘要	数量	単位	単価	金 額	備 考
(根がらみ貫)	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m		m³ (本)			所要数量
根太等	樹種、寸法(断面、長さ)、等級、含水率〔乾燥 処理〕(保存処理) 部材長さの合計:●m		m³ (本)			所要数量
小計						
3) 小屋組						
(製材)	[構造用製材/目視等級区分〕の場合					
梁・桁	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、長さ)、等級、含水率(乾燥処理)、(保存処理)、(材面の美観) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)			所要数量
(小屋東)	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、 長さ)、等級、含水率[乾燥処理]、(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)			所要数量
(斜材)	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、 長さ)、等級、含水率〔乾燥処理〕、(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)			所要数量
棟木・母屋	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、 長さ)、等級、含水率[乾燥処理]、(保存処理) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)			所要数量
(桁行筋かい等)	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、 長さ)、等級、含水率[乾燥処理]、(保存処理) 部材長さの合計:●m		m³ (本)			所要数量
垂木	樹種、構造材の種類(甲種・乙種の別)、寸法(断面、 長さ)、等級、含水率[乾燥処理]、(保存処理) 部材長さの合計:●m		m³ (本)			所要数量
小計						
(集成材)	〔構造用集成材〕の場合					
項目は製材に同じ	樹種、寸法(断面、長さ)、等級(強度等級) (材面の品質) 部材長さの合計:●m、部材の本数の合計:●本		m³ (本)			所要数量
小計						
4) 壁						
(製材)	〔下地用製材〕の場合					

^()は必要に応じて計上する。

[V] 建築工事内訳書標準書式·解説

(保存処理): K1~K5

5. 下地用製材は、樹種、寸法、等級、含水率〔乾燥処理〕、(保存処理) を明記する。

なお、JAS 1083-5 (製材-第5部:下地用製材)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。

等級:1級、2級

含水率〔乾燥処理〕: SD15、SD20、D15、D20

(保存処理): K1~K5

6. 造作用製材は、樹種、寸法、等級、含水率〔乾燥処理〕、材面の品質、(保存処理)を明記する。

なお、JAS 1083-2 (製材-第2部:造作用製材)では、それぞれの規格を次のとおり区分している。

材面の品質:無節、上小節、小節、並

含水率〔乾燥処理〕: SD15、SD18、D15、D18

(保存処理): K1~K5

7. 無等級材は、樹種、寸法、含水率〔乾燥処理〕、(材面の美観) などを明記する。

なお、それぞれの規格は次の区分の例がある。

含水率 [乾燥処理]: KD (人工乾燥木材)

(材面の美観): 無節、上小節、小節など

8. 指定製材は、樹種、寸法、含水率〔乾燥処理〕などを明記する。

集 成 材

- 1. 集成材は、「日本農林規格 JAS 1152」に定める構造用集成材〔同一等級構成、 異等級構成〕、化粧ばり構造用集成柱、造作用集成材、化粧ばり造作用集成材が ある。
- 2. 構造用集成材〔同一等級構成、異等級構成〕は、樹種、寸法、強度等級、(材面の品質)を明記する。(()の項目は必要に応じて明記する。(以下この項において同じ。))

なお、「日本農林規格 JAS 1152」4.3 構造用集成材では、それぞれの規格を 次のとおり区分している。

[同一等級構成] の場合

等級(強度等級): E55-F200~E190-F615

(材面の品質): 1種、2種、3種

〔異等級構成〕の場合

等級 (強度等級):

対称異等級構成集成材: E55-F200~E170-F495

特定対称異等級構成集成材: ME85-F255~ME120-F330

1 工種別内訳書標準書式・解説

非対称異等級構成集成材: E50-F170~E160-F480

(材面の品質):1種、2種、3種

- 3. 化粧ばり構造用集成柱は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の 厚さ〕、見付け材面数を明記する。
- 4. 造作用集成材は、樹種、見付け材面数、寸法、見付け材面の品質などを明記する。

なお、「日本農林規格 JAS 1152」4.1 造作用集成材では、それぞれの規格を 次のとおり区分している。

見付け材面の品質:1等、2等

5. 化粧ばり造作用集成材は、樹種〔芯材・化粧薄板〕、寸法〔断面、化粧薄板の 厚さ〕、見付け材面数、見付け材面の品質を明記する。

なお、「日本農林規格 JAS 1152」4.2 化粧ばり造作用集成材では、それぞれの規格を次のとおり区分している。

見付け材面の品質:1等、2等

構造用面材

- 1. 構造用面材は、「日本農林規格 JAS 0233」に定める構造用合板、化粧張り構造用合板、「日本農林規格 JAS 0360」に定める構造用パネル、「日本産業規格 (旧:日本工業規格)」に定める構造用パーティクルボード、パーティクルボード、構造用 MDF、ハードファイバーボード、硬質木片セメント板、パルプセメント板、構造用せっこうボード、せっこうボード、強化せっこうボード、せっこうラスボード、シージングボード、ラスシートなどがある。
- 2. 構造用合板は、等級、接着の程度、表面の樹種名、板面の品質、厚さ、(曲げ性能)を明記する。(()の項目は必要に応じて明記する。(以下この項において同じ。))

なお、「日本農林規格 JAS 0233」5.3 構造用合板では、それぞれの規格を次のとおり区分している。

等級: 1級、2級

接着の程度:特類、1類

板面の品質:A-B、A-C、A-D、B-B、B-C、B-D、C-C、C-D、D-D

(曲げ性能): E50-F160~E80-F270

3. その他のボードは、厚さ、規格を明記する。

合 板 等

1. 合板等は、「日本農林規格 JAS 0233」に定める普通合板、構造用合板、化粧ばり構造用合板、天然木化粧合板、特殊加工化粧合板、「日本農林規格 JAS 0360」に定める構造用パネル、「日本産業規格(旧:日本工業規格)」に定めるパーティ

1 工種別内訳書標準書式・解説

- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

梁・桁

所要数量(m2は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・胴差、床梁、甲乙梁、間仕切桁、火打梁、軒桁、小屋梁(平陸梁を除く)を含すた。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

(方杖)

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

筋かい

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

2) 床 組

大 引

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

(床束)

所要数量(m³又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。
- ・東立てモルタルは施工費に含む。

(根がらみ貫)

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計を摘要欄に明記する。

なお、当該項目は、建築数量積算基準第4編第5章第2節2各部分の計測・計 算の定めにおいて、「部材長さには、継手長さは計測の対象としない」とする

[V] 建築工事内訳書標準書式・解説

材に該当するため、「部材の本数の合計」の明記は要しない。(以下、同項に該 当する材において同じ)

根 太 等

所要数量(m以は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・根太掛けを含む。
- ・部材長さの合計を摘要欄に明記する。

3) 小屋組

梁・桁

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・小屋梁 (平陸梁)、登り梁 (合掌) を含む。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

(小屋束)

所要数量(mg又は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・小屋東、合掌東、トラス東を含む。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

(斜材)

所要数量(mZは本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

棟木・母屋

所要数量(m2は本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・棟木、隅木、谷木、母屋を含む。
- ・部材長さの合計と部材の本数の合計を摘要欄に明記する。

(桁行筋かい等)

所要数量(mZは本)×材料単価

- *数量は樹種、寸法、等級などの仕様ごとに区分する。
- ・樹種、等級などは特記による。
- ・桁行筋かい、小屋筋かい、振れ止め(はりつなぎ)を含む。
- ・部材長さの合計を摘要欄に明記する。